

講義名	キャリア実践論（3年生のみ）			
担当教員	前川 明			
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 1時限	授業形態	演習	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考

**主題と概要**

大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。

就活は3年生の後期から準備が始まり、4年生の前期まで続く（未決定の場合は卒業まで続くこともある）。就活対象者は自分の強さや長所を再認識し、志望理由を明確化させる必要がある。また企業が期待する求める人材像やコンピテンシーを理解し、自己成長の目標に挑戦していくことが重要となる。

授業概要は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）。また、働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。

**到達目標**

到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の間に、しっかりとした考え方を身につけることである。その上で自己PRの作成方法と会社選びの基準づくりを目指す。

総合的な就職力を磨いていくことにある。

- ・SPI等の筆記試験対策で得意な得意な分野を自己評価する。
- ・自分の強さ・弱さの分析から自己PRをまとめる。
- ・業界企業を分析し、自己PRと志望動機につなげていく。
- ・就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を決定する。

**提出課題**

毎回のミニレポート、課題、最終レポート

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

課題（レポートや小テスト等）を提出した次の授業で、課題の全体講評を実施する。また、毎回の授業で提出するミニレポートについてはクリッカー（Respon）を使用し、次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。

**評価の基準**

ミニレポート（45点）  
レポート（35点）  
提出課題（宿題）点（10点）  
授業内での小テスト（10点）

**履修にあたっての注意・助言他**

この授業はいずれ社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る、私語を慎む等）を守ること、3年生から4年生にかけて、就職活動のピークを迎えますので、就職希望の学生は必ず受講し、日頃から新入職で社会全般についての情報に関心を持つこと。

教科書				
.使用しない。				

**プリント資料及び参考文献**

必要に応じて資料を配布します。

**授業計画**

回数 授業計画  
1 イントロダクション：就職環境の現状と課題  
2 働くことの意味  
3 社会・企業を取り巻く環境  
4 業界研究・企業研究  
5 企業研究・仕事研究  
6 自己分析  
7 筆記試験  
8 筆記試験  
9 自己分析  
10 エントリーシート・履歴書  
11 グループディスカッション  
12 面接  
13 面接  
14 就職活動の戦略の立て方  
15 まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

就職活動をするために、授業内での宿題や課題だけでなく、自己分析、業界地図や就職四季報、企業HP等での企業研究・仕事研究、SPIなどの筆記試験対策、以上、について1日1時間は時間をかけて準備すること。具体的な方法は授業内で紹介していく。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

当該科目は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）。また、働くことの意味（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開することを目的とした授業であり、「働く目的と仕事観の醸成、自身の適性と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行うとともに、就職力を高めるための実践的科目」というキャリア科目のBとまさに一致致していると考えられる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

授業内での設問や毎回授業のミニレポートはクリッカー（Respon）を使用し、授業中の教員からの設問についてはリアルタイムで意見の解説を行い、授業最後に回答するミニレポートについては次の授業の冒頭で、前回授業のミニレポートの内容（感想、質問）を紹介し、必要に応じて、解説、回答を行う。

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり  
小売業での販売職（3年）、洋菓子メーカーでの人事（採用・教育）（5年）を経て、その後、15年間、キャリアコンサルタントとして大学生の就職支援、キャリア教育、転職者の面接指導、面接のセミナー、企業の採用支援（面接代行）に従事している。その経験を生かして、大学での学びや大学生活（課外活動など）での経験が、どのように社会で役に立つのかを事例を交えて解説を行う。

**備考**

新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が困難が禁止となった学生には、別途個別に相談しながら対応していきます。ただし、状況によってはシラバスが変更する可能性があります。